

令和6年（暦年）建設工事事故報告書一覧表（1月～12月）

No.	事故発生日	工事区分	事故区分	建設事故内容	発生状況概略図	
					PDF	有
6-1	R6. 1. 30	土木	物損公衆災害	舗装版剥ぎ取り作業中、カーブミラーにバックホウが接触	PDF	有
6-2	R6. 2. 13	土木	物損公衆災害	配管布設工事掘削中、電線管保護管（FEP）をバックホウで破損	PDF	有
6-3	R6. 2. 14	土木	物損公衆災害	給水管取付替えのため管閉塞（カンサ）中、給水管（HIVP）を破損	PDF	有
6-4	R6. 2. 22	土木	物損公衆災害	給水管取付替え作業中、工事車両がブロック塀に接触、ブロック塀破損	PDF	有
6-5	R6. 2. 23	土木	物損公衆災害	バックホウ移動中に店舗利用者用樹脂スロープに接触し破損	PDF	有
6-6	R6. 3. 11	土木	物損公衆災害	管布設工事掘削中、給水管（HIVP）をバックホウで接触し破損	PDF	有
6-7	R6. 4. 18	土木	物損公衆災害	給水管取付替えのため管閉塞（カンサ）作業中、既設給水管（25mmエルボ継手部）の離脱	PDF	有
6-8	R6. 4. 22	土木	物損公衆災害	給水管取付替えのため位置確認掘削作業中、既設給水管（25mm）をバックホウで接触し破損	PDF	有
6-9	R6. 6. 6	土木	物損公衆災害	給水管調査中に不要（不明）給水管（20mmエルボ継手部）の離脱	PDF	有
6-10	R6. 7. 3	土木	労働災害	緊急破裂修理中に体調を崩し救急車を要請。熱中症発生	PDF	有
6-11	R6. 7. 9	土木	物損公衆災害	管布設工事掘削中、給水管（20mmVP不明管）にバックホウが接触し破損	PDF	有
6-12	R6. 7. 18	土木	物損公衆災害	管布設工事掘削中、給水管（25mmHIVP）にバックホウが接触し破損	PDF	有
6-13	R6. 8. 2	土木	物損公衆災害	管布設工事掘削中、ガス管（32mm）サドル部にバックホウが接触し破損	PDF	有
6-14	R6. 8. 5	土木	物損公衆災害	管布設工事掘削中、給水管（25mmHIVP不明管）にバックホウが接触し破損	PDF	有
6-15	R6. 8. 7	土木	物損公衆災害	管撤去工事掘削中、ガス管（25mm不明不要キャップ止め管）にバックホウが接触し破損	PDF	有
6-16	R6. 8. 16	土木	労働災害	舗装版切断作業を終え帰社後、作業人が嘔吐・痙攣等の症状を発症したため救急車を要請。熱中症発生	PDF	有
6-17	R6. 9. 4	土木	物損公衆災害	管布設工事掘削中、給水管（20mmHIVP不要管）にバックホウが接触し破損	PDF	有

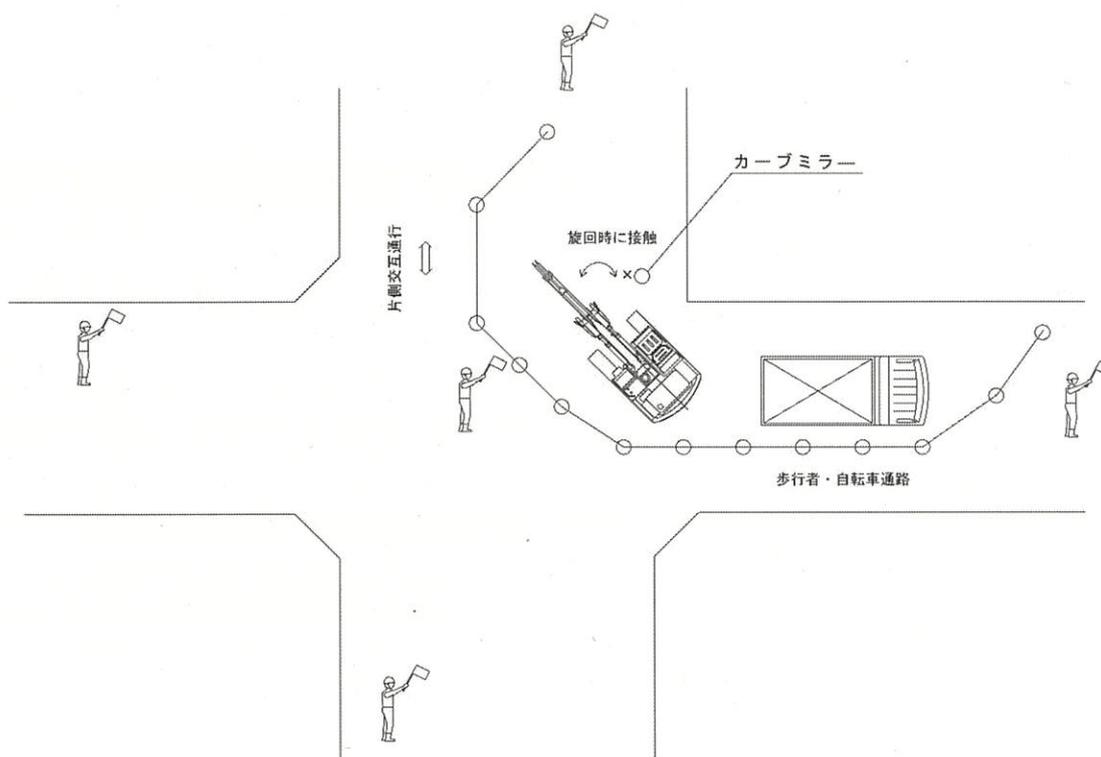
発生状況概略図（説明図）

事例番号	R6-1	事故分類	物損公衆災害
被災内容	カーブミラーとの接触事故	工事区分（工種）	管撤去工
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年1月30日

〔事故の概要〕

交差点内で片側交互通行にて管撤去工を行うにあたり、舗装剥ぎ取り、積込み作業中にカーブミラーとバックホウのアームが接触し、カーブミラーの角度が変わった。

〔状況図〕



要 因	人 的	周囲の目視確認不足	対 策	周囲構造物の確認と適切な距離を取る。
	物 的	重機とカーブミラーとの距離が近い		重機の作業範囲を目視で確認する。
	管理的	重機の旋回時の誘導員が居ない		重機旋回時・移動時は誘導員を配置する。
原 因	重機の旋回時・移動時における目視確認の不足。 誘導員がいない			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R6-2	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	電線管保護管破損	工事区分（工種）	配管工事	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年2月13日	
配管工事（管路2条）作業中に、施設ケーブル保護管（さや管 FEP φ30×3条）をバックホウで持ち上げ破損した。				

〔状況図〕

作業員配置図

縦断面図

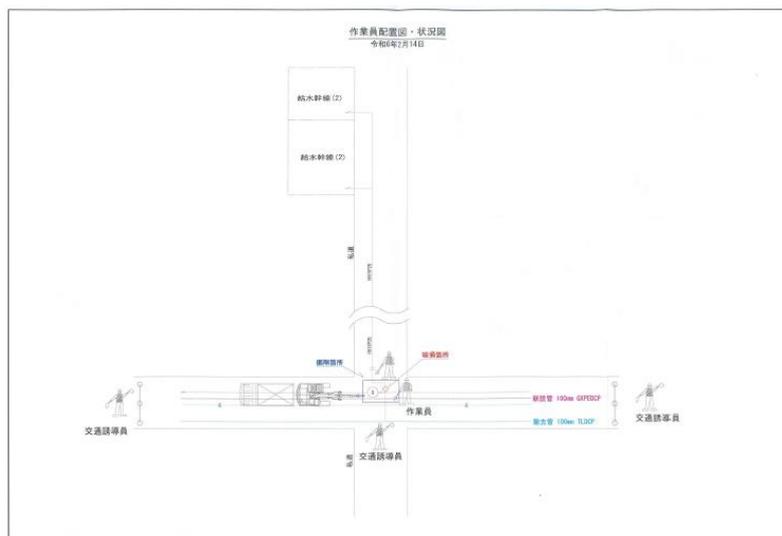
要 因	人 的	掘削補助員を配置していたが、埋設管の存在を認識していなかった。	対 策	埋設管理者との打ち合わせ及び現地立会により不明管の有無を明らかにする。
	物 的	埋設管は、既設の L 型側溝の直下に浅埋されていた。		
	管理的	不明埋設管の有無を確認していなかった。		
原 因	埋設管がないものとして、機械掘削を実施した。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R6-3	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 100mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年2月14日

給水管取付替えにおいて、給水幹線 25mm（HIVP）を管閉塞（カンサ）作業中に管が割れ漏水した。

〔状況図〕



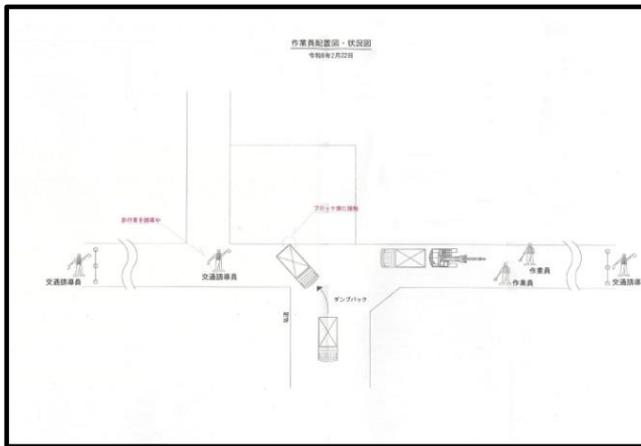
要因	人 的	—	対 策	管閉塞（カンサ）を使用する前に管を清掃し、管に対し直角に管の芯にあてるようにする。
	物 的	—		
	管理的	—		
原 因	給水管の劣化及び必要以上に圧力をかけたため。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R6-4	事故分類	物損公衆災害
被災内容	ブロック塀破損	工事区分（工種）	新設管 100mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年2月22日

給水管取付替えにおいて、付近で歩行者誘導を行っていた交通誘導警備員の指示を待たずに工事車両を回転し後退中にブロック塀に接触し破損した。

〔状況図〕



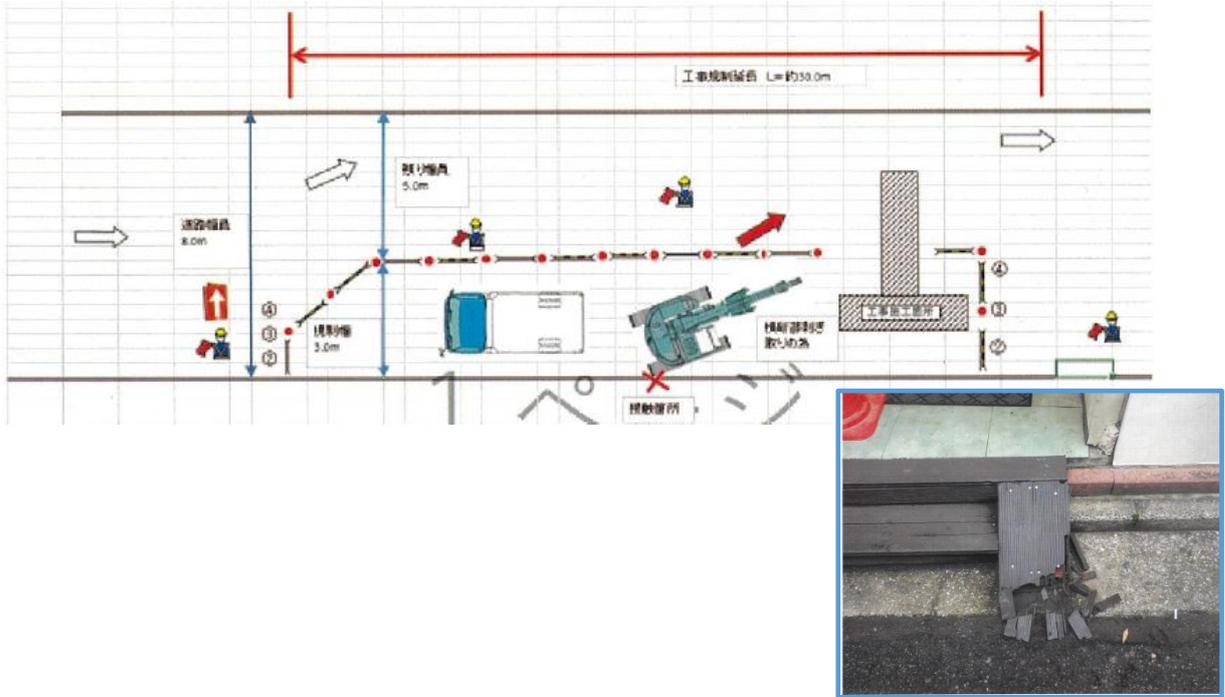
要因	人 的	交通誘導警備員の指示を待たずにダンプを移動。	対 策	道路幅員の大小に関係なく、運転手は工事車両移動時には必ず交通誘導警備員の指示に従い、周辺確認を徹底し工事車両を移動させる。 交通誘導警備員は、工事車両移動時には第三者の誘導を優先し、周囲の建造物に細心の注意を払い工事車両の誘導を行う。 あらためて、KY活動時に周知徹底する。
	物 的	—		
	管理的	歩行者の誘導とダンプの移動が重なった時の打合せ不足。		
原 因	交通誘導警備員の指示なしに工事車両を後退したこと。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 5	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	管撤去工事
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年2月23日

管撤去工事において、作業の進展に伴いバックホウを移動中、店舗（立体駐車場）利用者出入口に設置された樹脂製ウッドデッキのスロープ部に接触し破損した。

〔状況図〕



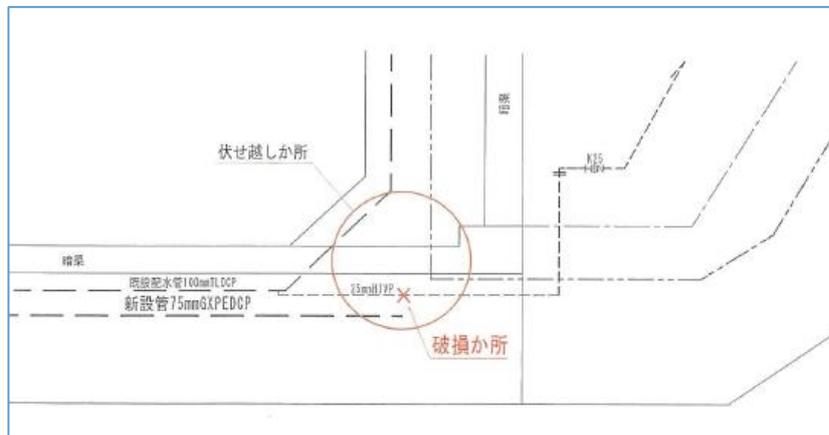
要因	人 的	機械運転者の操縦ミス。	対 策	今後、作業を行う際は交通誘導警備員の合図により、機械運転者は周囲の構造物に接触しないよう確認を行い離隔を確保する。
	物 的	—		
	管理的	第三者の誘導不足。		
原因	境界付近での作業を行う際に周囲の確認を怠った。 移動の際に必要な距離の確保を怠った。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 6	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 75mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年3月11日

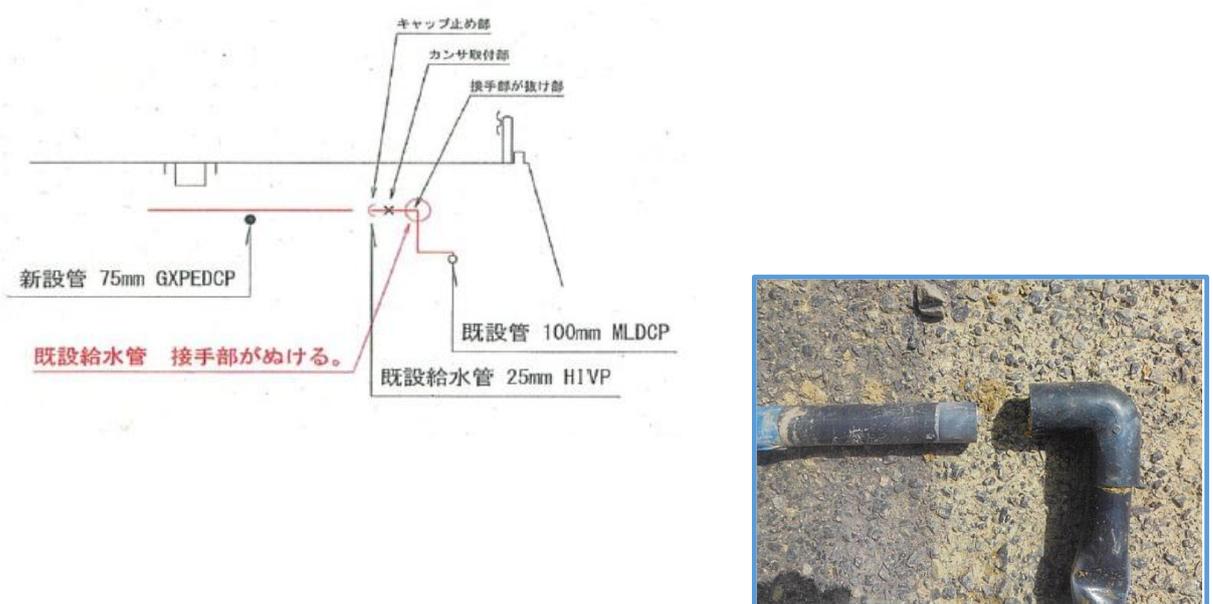
管布設工事（伏せ越しか所）において、手掘りで確認をしながら人力併用機械掘削を行っていた。
 事前に給水カードや現地踏査にて給水管の埋設位置について確認していたものの埋設位置を勘違いし、バックホウのバケットが給水管に接触し、破損した。

〔状況図〕



要因	人 的	埋設物の確認不足。	対 策	<ul style="list-style-type: none"> 給水管の埋設位置について、給水カードや現地踏査での確認を再徹底する。 布設位置が不明確な給水管が他にも考えられるため、慎重に掘削するとともに必要に応じて手掘りで確認後、重機オペレーターに給水管位置を周知して作業する。
	物 的	—		
	管理的	—		
原因	<ul style="list-style-type: none"> 給水管埋設位置の確認不足。 給水の埋設がないものと勘違いし、機械掘削をしたこと。 			

発生状況概略図（説明図）

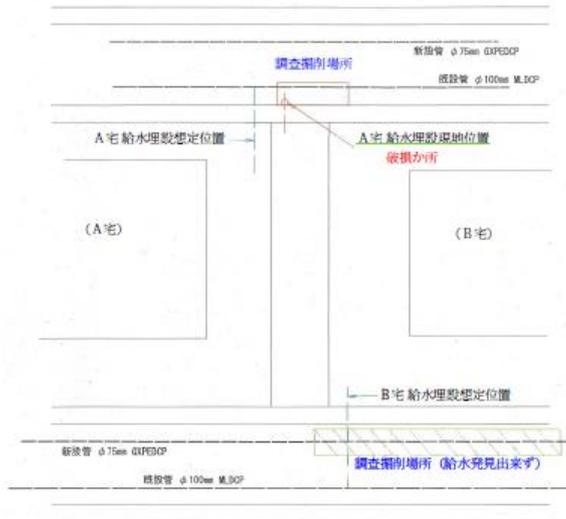
事例番号	R6-7	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 75mmGXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年4月18日	
<p>管布設工事（75mmGXPEDCP）給水管工において、既設給水管 25mm を管閉塞（カンサ）しキャップ止めを行った。 管閉塞器具を緩めたところ、既設給水管のエルゴ継手部が離脱した。</p>				
<p>〔状況図〕</p> <div style="text-align: center;">  </div>				
要 因	人 的	—	対 策	既設給水管を管閉塞器具で止水する場合は、露出部分を最小限にし施工する。
	物 的	—		
管理的	—			
原 因	既設給水管継手部の接着剤及びパイプの挿入が不十分であったため。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 8	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 75mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年4月22日

管布設工事（75mmGXPEDCP）給水管工において、既設給水管の埋設位置を確認するため掘削作業中、既設給水管(25mm)にバックホウが接触し破損した。

〔状況図〕



要因	人的	—	対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水カードや現地踏査の確認を再徹底する。 ・ 慎重に掘削するとともに、給水ガードで想定される埋設給水管付近は人力掘削で施工する。
	物的	—		
	管理的	—		
原因	給水カードでは、少し離れた場所の埋設であったため掘削に対する慎重さが欠けていた。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 9	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年6月6日
<p>管布設工事（150mmGXPEDCP）において、給水管調査中に不要（不明）給水管（20mmHIVP）のエルボ継手部が離脱した。</p>			
<p>〔状況図〕</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">作業員配置図・状況図 令和6年6月6日</p> </div> <div style="width: 45%;"> </div> </div>			
要 因	人 的	—	対 策
	物 的	—	
	管理的	—	
原 因	既設給水管継手部の糊付けが が不十分であったため。		必要以上に、管を露出させない。

発生状況概略図（説明図）

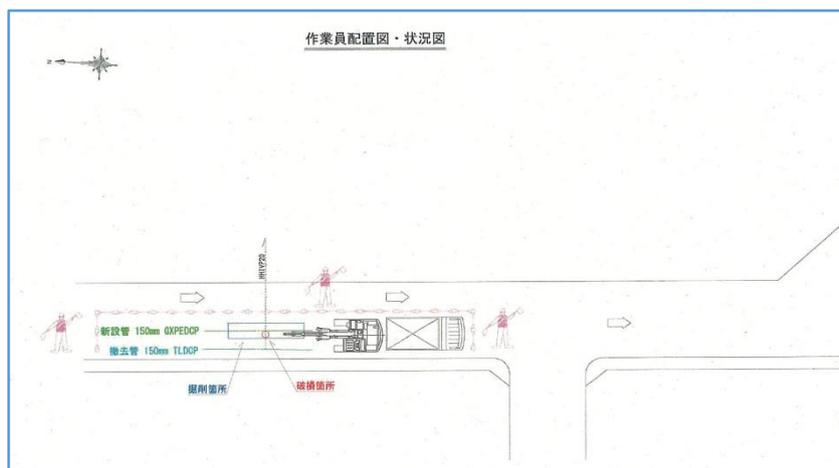
事例番号	6-10	事故分類	労働災害
被災内容	熱中症	工事区分（工種）	緊急破裂修理
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年7月3日
<p>〔事故の概要〕</p> <p>14時から現場状況を確認後、道路上の止水栓漏水を17時頃には完了した。その後、埋戻し作業中に作業員が体調を崩し救急車を要請。救急隊の応急処理により体調は回復した。</p>			
<p>〔状況図〕</p> <p>状況図記載なし</p>			
要 因	人 的	記載なし。	対 策
	物 的	記載なし。	
	管理的	水分補給、休憩等の体調管理不足。	
原 因	気温 33.5 度前後の中、漏水のため早期の修理完了の思いから、十分な水分補給を行わなかったため、体調不良になったと考えられる。		体調不良にならないように、こまめな休憩管理及び水分・塩分の補給を徹底する。 できる限り交代要員を配置する。

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 1 1	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年7月9日

管布設工事（150mmGXPEDCP）において、管布設掘削中に不要（不明）給水管（20mmVP）にバックホウが接触し破損した。

〔状況図〕



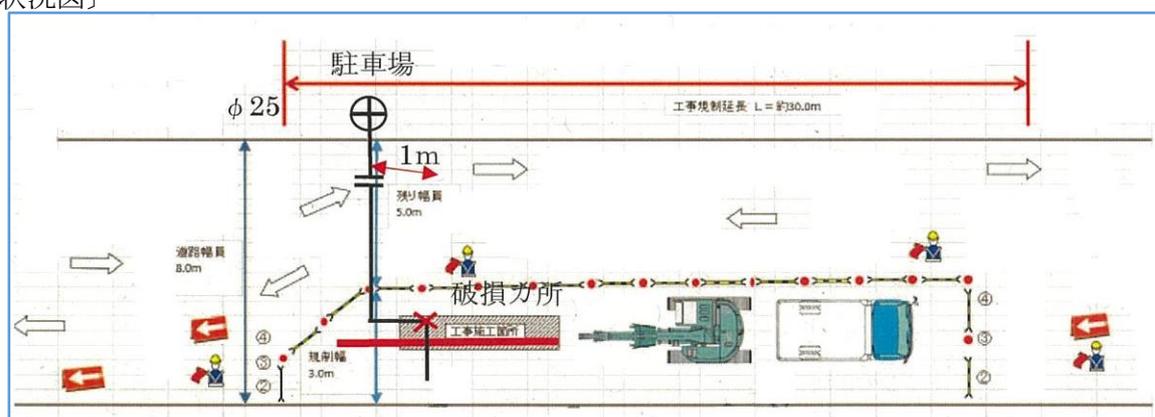
要因	人的	—	対策	配管情報及び給水台帳にない不明給水管であることから有効な対策はないと思われるが、注意しながら掘削作業を行う。
	物的	—		
	管理的	—		
原因	水道局が把握していない給水管（不明管）であったため。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 1 2	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年7月18日

管布設工事（150mmGXPEDCP）において、止水栓の位置を確認後、約 1m手前を機械掘削中に、バックホウが給水管（25mmHIVP）に接触し破損した。

〔状況図〕



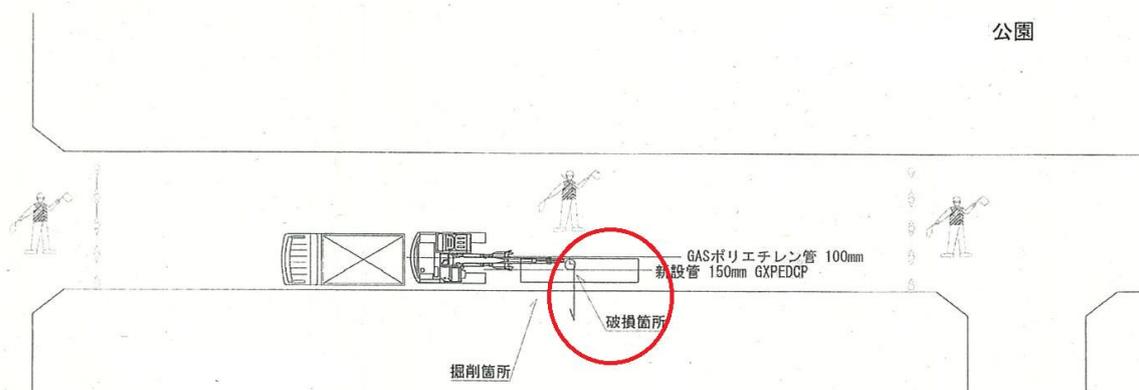
要 因	人 的	埋設管の確認不足。	対 策	目視確認、並びに図面での確認を行う。 埋設管が予想される場合は、人力掘削で確認を行う。
	物 的	機械での掘削。		
	管理的	—		
原 因	埋設管位置のずれを予測できず、機械での掘削を行ったため。 埋設位置の確認不足。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 1 3	事故分類	物損公衆災害	
被災内容	ガス引き込み管破損	工事区分（工種）	新設管 150mmGXPEDCP	
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年8月2日	

管布設工事（150mmGXPEDCP）において、管布設掘削中にガス管（32mm）サドル部にバックホウが接触し破損した。

〔状況図〕



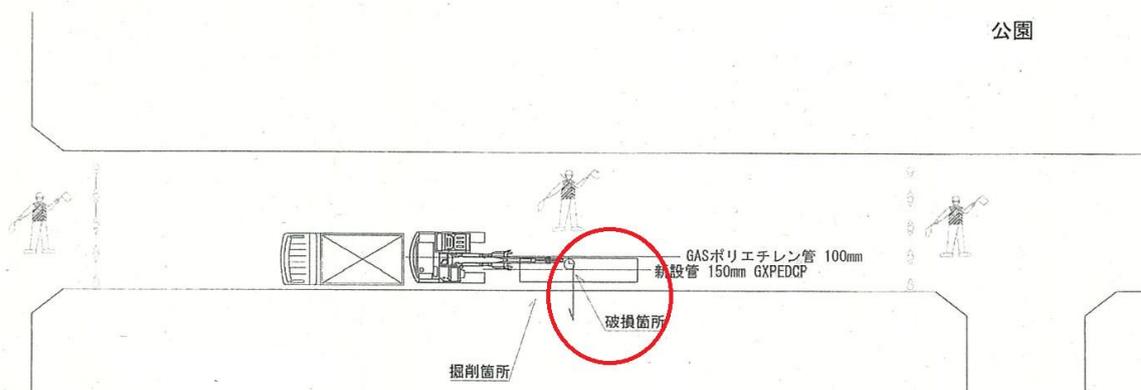
要因	人 的	—	対 策	埋設物付近は人力掘削を徹底し、掘削幅内での埋設物の位置など確認する。
	物 的	—		
	管理的	—		
原 因	人力掘削で位置を確認していたが掘削幅全て（ルート）を確認していなかった。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R6-14	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年8月5日

管布設工事（150mmGXPEDCP）において、管布設掘削中に給水管（25mmHIVP 不明管）にバックホウが接触し破損した。

〔状況図〕



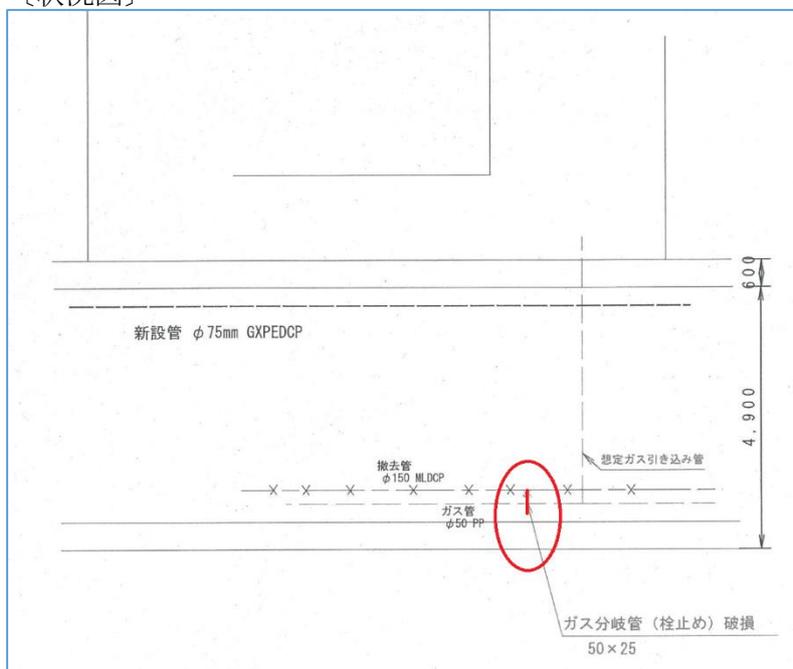
要因	人的	—	対策	駐車場など複数、引き込まれていることもあるので埋設付近は人力掘削を徹底する。
	物的	—		
	管理的	—		
原因	人力掘削で給水管は確認していたが更に給水管が引き込まれているとは思わず機械掘削を行った。			

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 1 5	事故分類	物損公衆災害
被災内容	ガス引き込み管破損	工事区分（工種）	管撤去 150mm
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年8月7日

管撤去工事（150mmMLDCP）において、管撤去掘削中にガス引き込み管 25mm（不明不要キャップ止め管）にバックホウが接触し破損した。

〔状況図〕



要 因	人 的	—	対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は慎重に掘削作業を行う。 ・ ガス会社に再度、供給管位置の確認を行う。
	物 的	慎重に掘削（注意不足）		
	管理的	—		
原 因	同一宅地内に二本のガス分岐管があるとは想定できなかった。			

発生状況概略図（説明図）

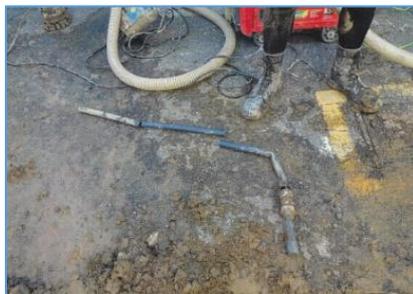
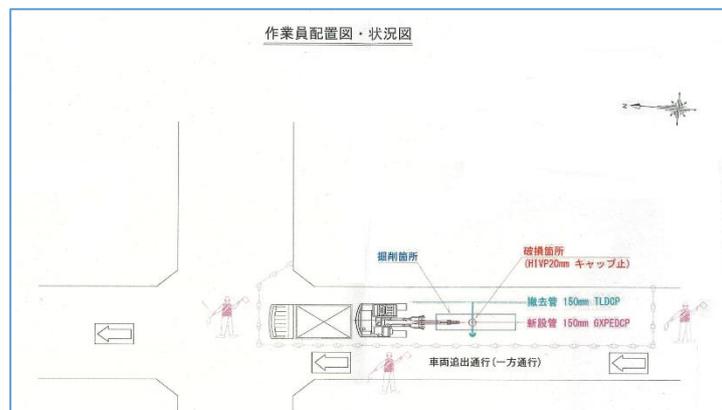
事例番号	6-16	事故分類	労働災害	
被災内容	熱中症		工事区分（工種）	給水管取付替え （舗装版切断工）
職 種	土木		発 生 年 月 日	令和6年8月16日
〔事故の概要〕				
<p>舗装版切断を9時から14時まで作業し帰社後、作業員が駐車場から降りてこないことから同僚が声を掛けたところ嘔吐・痙攣を発症し意識が朦朧としていたため救急車を要請。熱中症と診断されたが数時間後に体調は回復した。</p>				
〔状況図〕				
<p>状況図記載なし</p>				
要 因	人 的	連休明けの作業で体が暑さに慣れていなかった。		対 策
	物 的	作業当日は最高気温 38.7° と猛烈な暑さだった。		
	管理的	作業後の体調を確認していなかった。		
原 因	作業前の体調に異変はなく空調服を着用して水分補給を取りながら作業をしていたが体調の変化に気づかなかった。		<p>体調不良にならないように、こまめな休憩及び水分・塩分補給を徹底する。 また、現場に熱中症対策キット（体を冷やすタオルや塩分タブレット）を常備し、熱中症対策を行う。</p>	

発生状況概略図（説明図）

事例番号	R 6 - 1 7	事故分類	物損公衆災害
被災内容	給水管破損	工事区分（工種）	新設管 150mmGXPEDCP
職 種	土木	発 生 年 月 日	令和6年9月4日

管布設工事（150mmGXPEDCP）において、管布設掘削中に給水管（20mmHIVP 不要管）にバックホウが接触し破損した。

〔状況図〕



要因	人的	—	対策	埋設物付近は人力掘削を徹底し、設計掘削深さより掘削する場合は人力掘削を徹底する。
	物的	—		
	管理的	—		
原因	必要以上に機械掘削を行ったため。			